

平成26年度
特色ある学校づくり推進事業報告書
(企業実習等)



茨城県立海洋高等学校

1 学校の課題

本校は平成 20 年度から平成 22 年度まで文部科学省の指定を受け、地域産業の担い手育成プロジェクト事業を実施した。実施前の本校の漁業・水産業への就職状況は5年間で10人に満たない状況であった。しかし、地域産業で企業実習を行ったことにより、生徒は漁業や水産業への理解が深まり、地域企業は本校生徒に対する理解が深まった。その結果、地域の漁業や水産業へ就職する生徒が増えてきた。

本校は企業実習の実施により、就業者について一定の結果を出しつつあるが、さらに一層の努力と継続が必要である。

本校は平成 26 年度に学科改編し、海洋技術科、海洋産業科及び海洋食品科の3学科となり、各学科の定員は40名となった。海洋技術科は平成 25 年度までの海洋技術科と海洋工学科を合わせたもので、卒業時に5級海技士（航海）と内燃機関5級海技士（機関）両方の筆記試験が免除となる。海洋産業科は新設される学科で小型船舶の免許取得やダイビングの実習を行い、海洋土木や港湾作業等に従事する人材の育成を目指す。

学科改編後も、漁業や水産業、海洋関連企業への担い手育成を目指し、関連企業等の協力を得ながら、企業実習の充実を図ることが必要である。

2 事業の目標

地域の漁業・水産・海洋関連企業と連携して本校生徒の企業実習や専門技術者による実践的な指導を実施し、職業理解を促進するとともに、就業意欲の向上と就職後のミスマッチを防止する。さらに、企業実習等を通して地域企業に本校を理解してもらい、求人の増加を図る。

3 実施状況

（1）生徒の企業実習

ア 海洋技術科

- ・参加生徒：海洋技術科2年生 35名
- ・期間：5月28日～6月3日
- ・協力企業等：茨城県旋網漁業協同組合、久慈町漁業協同組合会瀬支所、はさき漁業協同組合、日立ポートサービス（株）、水産工学研究所
- ・実施方法：会瀬定置網と日立ポートに班分けし1日ずつ実施、旋網漁業は全員で実施
- ・実習日課：（資料1－1のとおり）
- ・実習の様子：（資料6のとおり）
- ・内容：

○定置網漁業実習

久慈町漁協会瀬支所が所有する定置網を漁業者の指導を受けながら、本校生徒が引き揚げ、漁業技術を習得した。

○タグボート実習

日立ポートサービス㈱のタグボートに乗り曳船業務や船舶のメンテナンス、作業用具の作成などを行なった。

○旋網漁業見学

はさき漁協所属の旋網船を見学するとともに、船内の様子について説明を受けた。また、漁協担当者から旋網漁業について説明を受けた。さらに本校卒業の漁業者から漁業の実践や漁業者の生活について説明を受けた。

○漁業先端技術見学

水産工学研究所での研究を見学するとともに、研究者から説明を受けた。

・実習日程

実習日	5月28日	5月29日	5月30日
曜 日	水	木	金
A班	定置網漁業実習 久慈町漁業協同組合瀬支所	定置網漁業実習 久慈町漁業協同組合瀬支所	タグボート実習
B班		タグボート実習 日立ポートサービス	定置網漁業実習
宿泊	会瀬青少年の家		

実習日	6月2日	6月3日
曜 日	月	火
全 員	旋網漁業実習 はさき漁業協同組合	
宿 泊	波崎グリーンホテル	

- ・実践による効果

○生徒のアンケート結果（資料２－１のとおり）

実習の事前と事後にアンケートを実施した。

質問４の「定置網漁業の方法について知っていますか」や質問５の「旋網漁業の方法について知っていますか」との質問では実習を行なったことにより理解が深まったことがわかった。

質問８の「将来漁業者になりたいですか」との質問では大きな変化は見られなかったが、質問１８の漁業に対するイメージは向上した。

質問５の「港湾作業の仕事を知っていますか」との質問では知っていると答えた生徒は事前では１８％であったが、事後では５２％となり、実習により職業への理解が深まったことがわかった。また、質問９の「将来港湾作業の仕事に就きたいですか」との質問に対し、なりたいたいと答えた生徒は事前では９％であったが、事後では２４％に向上し、港湾作業に対する就業意欲の向上が見られた。また、質問１８の港湾作業に対するイメージも向上した。

質問１９の「海洋技術科で学ぶ目的は何ですか」との質問では、事前ではなんとなくと答えた生徒が２７％であったが事後では９％となり、技術習得や海技免許が増加した。

○生徒の感想（資料３のとおり）

イ 海洋食品科

- ・参加生徒：海洋食品科２年生 ３７名（女子１６名）
- ・期間：９月１６日～９月２６日
- ・協力企業：（株）ヨ印水産，（株）ヤマイチ，（有）高田，（株）ヤ印，
（株）カクダイ水産，川達水産株式会社，（株）あ印，
（株）ニチロシーフーズ，ヤマサ水産（株），（株）新屋，
（株）森田水産，（有）魚一，（株）カスミ那珂湊店，（株）谷藤水産
- ・一人あたりの実習日数：８日間
- ・１日あたりの平均実習時間：８時間
- ・実習場所：協力企業各加工場及び販売店
- ・実習の様子：資料６のとおり
- ・内容：水産物を中心とした食品の加工・販売・流通等に関連した地域の企業で２週間の実習を行い，水産業分野の専門的な知識を有する若手の人材を育成するとともに就職に対する意識を向上させる。

企業名	生徒数	作業内容	所在地
(株) ヨ印水産	2 名	タコ、エビ、イカ加工	ひたちなか市平磯町 410
(株) ヤマイチ	3 名	シラス加工	ひたちなか市南神敷台 10-10
(有) 高田	3 名	シシヤモ、数の子加工	ひたちなか市沢メキ 1110-44
(株) ヤ印	2 名	シシヤモ、アジ、ホッケ加工、細菌検査等	ひたちなか市沢メキ 1110-18
(株) カクダイ水産	2 名	アジ、サバ、ホッケ加工	ひたちなか市沢メキ 1110-15
川達水産株式会社	3 名	タコ加工、エビクラゲの調理	ひたちなか市沢メキ 1110-66
(株) あ印	2 名	タコ加工等	ひたちなか市沢メキ 1110-9
(株) ニチロシーフーズ	1 名	鮭・魚卵・カニ加工	ひたちなか市和田町 3-13400-2
ヤマサ水産 (株)	5 名	鮮魚・加工販売	ひたちなか市湊本町 21-13
(株) 新屋	3 名	鮮魚・加工販売	ひたちなか市湊本町 21-9
(株) 森田水産	3 名	鮮魚・加工販売	ひたちなか市湊本町 21-7
(有) 魚一	3 名	鮮魚販売、レストラン	ひたちなか市湊本町 19-8
(株) カスミ那珂湊店	3 名	鮮魚、調理、販売	ひたちなか市栄町 2-13-25
(株) 谷藤水産	2 名	シシヤモ、ホッケ加工	大洗町磯浜町 2527

・実践による効果

○生徒のアンケート（資料 2-2 のとおり）

質問 4 の『将来水産（食品）関係の仕事に就きたいですか』との質問では事前事後で「どちらかというとなじきたくない」と答えた生徒が増加した。事前では「就きたい」または「どちらかというとなじきたい」と答えた生徒は 41%であったが、事後は 38%となり、「どちらかというとなじきたくない」または「就きたくない」と答えた生徒は 22%から 33%と増加した。企業実習により水産加工の仕事を理解した上で、現実を知り自分の考えがはっきりしたと考えられる。ある意味では水産加工業の現状を知り、就職した後のミスマッチを防止するうえで役立つ解答かもしれない。

質問 6 の事前の『企業での実習は楽しみですか』、事後の『企業での実習は楽しかったですか』との質問では「楽しみ」または「どちらかというとなじき」または「楽しかった」と答えた生徒が 49%で、「楽しかった」または「どちらかというとなじき」または「楽しかった」と答えた生徒が 92%であった。この結果は、生徒たちに職場で働いている人たちが優しく接してくれたことと、学校と違う環境の中で新鮮な気持ちで取り組めたためと考えられる。また、仕事の厳しさを知ったうえでも実習をした会社に就職したいという意見の生徒が数多く見られた。

質問 7 の『職業や仕事内容への理解は深まりましたか』との質問では事前で

は「十分身に深まる」と答えた生徒は8%であったが、事後では27%となった。実際に仕事をしてみて職業としての水産加工への理解が深まったと思われる。

質問8の『社会人・職業人として働く意欲や情熱は向上すると思いますか』との質問では、事前では「向上する」と答えた生徒は43%であったが、事後では「向上した」と答えた生徒は65%となった。仕事に対する考え方がある程度具体的な感覚として実感できて来たのではないかと思われる。

質問10から実習を実施し、働く上で、コミュニケーションや協調性が大切であることが理解したと考えられる。また、進路を考える上でも参考になったと考えられる。

質問13の『実習先の企業に就職したいか』という質問では、「就職したい」が事前の14%から27%と増加した。実習先で丁寧に指導してもらい、自分の職業として実感できた結果だと思われる。

○企業のアンケート（資料4のとおり）

（対象：受入前14社、受入後14社）調査結果

『礼儀・作法』、『容姿』、『学習能力』、『作業実践』、『努力する力』、『将来の雇用としての期待』のすべての項目において受入前よりも受入後の評価が高かった。

また、海洋高校生に望むものとしては、受入後では、「努力する力」「基礎学力」が7社、6社と多く寄せられた。また、「礼儀作法」は1社から3社と増加した。質問6の『将来の雇用としての期待』が「ある」と回答いただいたことと合わせ学校での指導の在り方を考えるうえでの参考となった。

ある会社からは実習生が複数いるので受入前・受入後のアンケートは一律には答え難いとの指摘や、毎年実習生を受け入れているが受入前では判断できない項目もあるとの指摘があり今後のアンケートの取り方を考える上で大いに参考になった。

○生徒の感想（資料3のとおり）

ウ 海洋工学科

- ・参加生徒：海洋工学科2年生 35名
- ・期間：6月4日（水）～11日（水）
- ・協力企業等：茨城県旋網漁業協同組合、久慈町漁業協同組合会瀬支所、
大津漁業協同組合、はさき漁業協同組合、鹿島埠頭㈱、
- ・実施方法：クラスを2班に分け、会瀬での定置網漁業実習と波崎での旋網漁業実習・タグボート実習を行なった。

- ・実習日課：（資料１－２のとおり）
- ・実習の様子：（資料６のとおり）
- ・内容：

○定置網漁業実習

久慈町漁協会瀬支所が所有する定置網を漁業者の指導を受けながら、本校生徒が定置網を引き揚げ、漁業技術を習得した。

○タグボート実習

鹿島埠頭(株)のタグボートに乗り曳船業務の実践を見学・体験した。

○旋網漁業見学

はさき漁協及び大津漁協所属の旋網船を見学するとともに、船内の様子について説明を受けた。また、漁協担当者から旋網漁業について説明を受けた。

・実習日程

日程	6/4(水)	6/5(木)	6/6(金)	6/9(月)	6/10(火)	6/11(水)
A班	波崎漁港(旋網実習) 鹿島埠頭(タグボート実習) (2泊3日)			久慈町漁業協同組合会瀬支所 (定置網実習) (2泊3日)		
B班	久慈町漁業協同組合会瀬支所 (定置網実習) (2泊3日)			波崎漁港(旋網実習) 鹿島埠頭(タグボート実習) (2泊3日)		

・実践による効果

○生徒のアンケート結果（資料２－３のとおり）

実習の事前と事後にアンケートを実施した。

質問４の「定置網漁業の方法について知っていますか」や質問５の「旋網漁業の方法について知っていますか」との質問では実習を行なったことにより理解が深まったことがわかった。

質問８の「将来漁業者になりたいですか」との質問では『なりたくない』と答えた生徒が減り、『なりたい』と答えた生徒が増加した。質問１７の「漁業に対するイメージはどうですか」との質問では大きな変化は見られなかった。

○生徒の感想（資料３のとおり）

エ ３年生旋網漁業実習

- ・参加生徒：海洋技術科３年生 ３名 海洋工学科３年生 ２名
- ・期間：７月８日～７月９日
- ・協力企業等：茨城県旋網漁業協同組合、大津漁業協同組合、第３８新丸、第２３福栄丸、第３３全徳丸

- ・実施方法：生徒と教員が旋網運搬船に分乗し、実際の漁模様を見学した。
- ・実習の様子：(資料6のとおり)

○生徒の感想 3年生旋網漁業実習(資料3のとおり)

(2) 技術者による実践的指導

ア 海洋技術科

○漁具作成

- ・参加生徒：海洋技術科2年生 34名
- ・実施日時：平成26年12月17日(水) 2～3時限目(9:40～11:10)
- ・協力機関：茨城県釣りインストラクター機構
- ・実習の様子：(資料6のとおり)
- ・内容：
 - ①講義 茨城県及び那珂湊の釣りについて
 - ②実技 仕掛けの作り方(針結び, テグス結び等)

イ 海洋食品科

○本県ヒラメ漁業と調理方法

- ・参加生徒：海洋食品科1年生 35名
- ・実施日時：
 - 平成27年2月25日(水)
 - ①講義 12:10～13:00 ②実技 13:10～15:00
- ・協力機関：
 - 茨城県漁業士会, 那珂湊漁業協同組合女性部, 茨城県水産試験場
- ・実習の様子：(資料6のとおり)
- ・内容：
 - ①講義
 - ・ヒラメの栽培漁業・生態について
 - ・茨城県で主にとれる魚について
 - ②実技 ヒラメの5枚おろし

(3) 先端技術習得実習

ア 海洋食品科

○HACCP 認定工場実習

- ・参加生徒：海洋食品科3年 23名
- ・実施日時：平成27年1月15日(木)
- ・協力機関：(株)紀文食品
- ・実習の様子：(資料6のとおり)

・内容：

- ① 講義 魚肉練り製品の製造と食品衛生について
- ② 実技 工場見学および職場体験

4 進路状況（資料5のとおり）

平成26年度、3年生は海洋技術科26名、海洋食品科23名、海洋工学科39名で合計88名となっている。就職内定者は70名、進学者は17名（水産大学校1名、東海大学1名、清水海上技術短期大学3名他）である。

県内漁業関係の求人社数は8社で、求人数は21名となった。本校生の内定状況は本県旋網漁業へ5名、定置網漁業へ2名（内県外1名）となっている。旋網漁業就職者のうち4名は3年生旋網漁業実習参加者であった。

水産加工業の県内求人社数は5社で、求人数は16名となっている。WEB求人と合わせた本校内定者は10名である。

海洋関連企業からの県内求人社数は本年度9社となり、求人数は57名となった。WEB求人と合わせた本校内定者は13名となっている。

企業実習を実施し、企業との関係が構築され、海洋高校生徒に対する理解が深まったことにより求人が増加していると考えられる。

5 まとめ

アンケートの結果からもわかるように生徒は企業実習を実施したことにより、その業種やその会社の仕事を体験的に理解することができた。また、企業実習実施後の就業意欲については必ずしも向上しているわけではない。しかし、実際の就職状況を見ると、実習を行った業種へ就職する生徒は少なくない。実習後にその業種やその会社に就職したくないと考える生徒もいるが、それは他業種との比較ではなく、現在の高校生活と比較したからではないかと考えられる。3年生になり、就職が現実化してくると高校生活との比較から、他企業との比較に変化し、就職しなくなっただけの業種に就職を希望する結果となっている。就職先を決定するにあたっては実習によりその業種の仕事内容を理解していることも就職先決定の一助となっていると考えられる。

3年生の旋網漁業実習は旋網船へ就職を考えている生徒に対して実施するため、不明なこと、理解できないことへの不安が解消され、就職意思の決定に大きく役立っている。

今後も企業実習や技術者による実践的指導を実施し、求人数の増加を図るとともに、地域産業の担い手育成を促進したい。

実習日課 海洋技術科 35名 5/29,30は2班分け(17名, 18名)
5月28日

8:45 集合
9:00 バス乗車
10:30 実習開始・オリエンテーション
11:00 昼食
12:00 網の修繕
14:00 終了
18:00 夕食・風呂
20:00 点呼
22:00 消灯

5月29日

定置網漁業実習	タグボート実習
3:45 起床・朝食・実習準備	6:00 起床・朝食・準備
4:00 カッパ着替え(番屋)	7:00 日立港へ移動(タクシー)
4:30 市場集合・出港準備	7:30 日立港到着
5:00 出港(定置網へ)	8:00 出港 曳航作業
8:00 入港・水揚げ・市場作業他	11:00 入港 陸上作業
11:00 昼食	12:00 昼食
12:00 網の修繕	13:00 陸上作業
16:00 終了	13:30 出港 曳航作業
18:00 夕食・風呂	15:30 入港
20:00 点呼	16:00 会瀬へ移動(タクシー)
22:00 消灯	17:00 会瀬到着・夕食・風呂
	20:00 点呼
	22:00 消灯

5月30日

定置網漁業実習	タグボート実習
3:45 起床・朝食・実習準備	6:00 起床・朝食・準備
5:00 出港(定置網へ)	7:00 日立港へ移動(タクシー)
8:00 入港・水揚げ・市場作業他	7:30 日立港到着
11:00 昼食	8:00 出港 曳航作業
12:00 片づけ・整理	11:00 入港 陸上作業
13:30 会瀬出発	12:00 昼食
14:00 日立港出発	14:00 日立港出発
15:00 学校到着, 解散	15:00 学校到着, 解散

6月2日

旋網漁業実習(風パターン)	旋網漁業実習(時化パターン)
8:45 学校集合	8:45 学校集合
9:00 学校出発	9:00 学校出発
11:00 銚子港到着(水揚げ見学)	11:00 宿舎到着
12:30 昼食	12:00 昼食
13:15 宿舎入室・荷物整理	13:00 はさき漁業協同組合
14:30 水産工学研究所見学	旋網船見学・旋網漁業説明・卒業生とのディスカッション
16:00 宿舎到着	16:00 宿舎到着
18:00 夕食	18:00 夕食
20:00 点呼	20:00 点呼
22:00 消灯	22:00 消灯

6月3日

旋網漁業実習	旋網漁業実習
7:00 起床	7:00 起床
7:30 朝食	7:30 朝食
8:30 宿舎出発	8:30 宿舎出発
9:00 はさき漁業協同組合	9:00 銚子港(水揚げ見学)
旋網船見学・旋網漁業説明・卒業生とのディスカッション	10:30 水産工学研究所見学
12:00 昼食	12:00 昼食
13:00 宿舎出発	13:00 宿舎出発
15:00 学校到着, 解散	15:00 学校到着・解散

日にち	時間	場所	内容
6月4日	8:45	学校	集合
	9:00	学校	出発
	11:00	銚子港	水揚げ見学
	12:30	宿舎	昼食
	13:15	宿舎	宿舎入室・荷物整理
	14:30	水産工学研究所	見学
	16:00	宿舎	到着
	18:00	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	22:00	宿舎	消灯
6月5日	7:00	宿舎	起床
	7:30	宿舎	朝食
	8:30	宿舎	出発
	9:00	はさき漁業協同組合	旋網船見学・旋網漁業の説明・卒業生との懇談
	12:00	バス	バス移動・昼食
	13:00	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	17:00	鹿島港タグボート	出発
	18:00	宿舎	到着
	18:30	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	21:00	宿舎	消灯
6月6日	5:00	宿舎	出発
	5:30	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	12:00	鹿島埠頭食堂	昼食
	13:00	バス	出発
	15:00	学校	到着

実習日程（時化パターン）

日にち	時間	場所	内容
6月4日	8:45	学校	集合
	9:00	学校	出発
	11:00	宿舎	到着・荷物整理
	12:00	宿舎	昼食
	13:00	はさき漁業協同組合	旋網船見学・旋網漁業の説明・卒業生との懇談
	16:30	宿舎	到着
	18:00	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	22:00	宿舎	消灯
6月5日	7:00	宿舎	起床
	7:30	宿舎	朝食
	8:30	宿舎	出発
	9:00	銚子港	水揚げ見学
	10:30	水産工学研究所	施設見学
	12:00	バス	バス移動・昼食
	13:00	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	17:00	鹿島港タグボート	出発
	18:00	宿舎	到着
	18:30	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	21:00	宿舎	消灯
6月6日	5:00	宿舎	出発
	5:30	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	12:00	バス	昼食
	13:00	バス	出発
	15:00	学校	到着

海洋工学科2年生 B班 17名

実習日程（風パターン）

日にち	時間	場所	内容
6月9日	8:45	学校	集合
	9:00	学校	出発
	11:00	銚子港	水揚げ見学
	12:30	宿舎	昼食
	13:30	はさき漁業協同組合	旋網漁業の説明
	15:00	水産工学研究所	見学
	16:00	宿舎	到着
	18:00	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	22:00	宿舎	消灯
6月10日	7:00	宿舎	起床
	7:30	宿舎	朝食
	8:30	宿舎	出発
	9:00	銚子漁港く大津漁協対応	旋網船見学・卒業生との懇談
	12:00	バス	バス移動・昼食
	13:00	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	17:00	鹿島港タグボート	バス出発
	18:00	宿舎	到着
	18:30	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	21:00	宿舎	消灯
6月11日	5:00	宿舎	出発
	5:30	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	12:00	鹿島埠頭食堂	昼食
	13:00	バス	出発
	15:00	学校	到着

実習日程（時化パターン）

日にち	時間	場所	内容
6月9日	8:45	学校	集合
	9:00	学校	出発
	11:00	宿舎	到着・荷物整理
	12:00	宿舎	昼食
	13:00	銚子漁港く大津漁協対応	旋網船見学・卒業生との懇談
	15:30	水産工学研究所	施設見学
	16:30	宿舎	到着
	18:00	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	22:00	宿舎	消灯
6月10日	7:00	宿舎	起床
	7:30	宿舎	朝食
	8:30	宿舎	出発
	9:00	銚子港	水揚げ見学
	10:30	はさき漁業協同組合	旋網漁業の説明
	12:00	バス	バス移動・昼食
	13:00	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	17:00	鹿島港タグボート	出発
	18:00	宿舎	到着
	18:30	宿舎	夕食
	20:00	宿舎	点呼
	21:00	宿舎	消灯
6月11日	5:00	宿舎	出発
	5:30	鹿島港タグボート	乗船・作業等
	12:00	バス	昼食
	13:00	バス	出発
	15:00	学校	到着

資料1-2

海洋工学科 B班 17名 6月4日～6月6日 A班18名 6月9日～6月11日
定置網漁業実習

		場所	内容
6月4日 6月9日	8:45	学校	集合
	9:00	学校	バス出発
	10:30	宿舎	バス到着・実習開始
	12:00	会瀬港	昼食
	13:00	会瀬港	実習開始
	16:00	宿舎	実習終了
	18:00	宿舎	夕食・風呂
	21:00	宿舎	就寝
6月5日 6月10日	4:00	宿舎	起床
	4:30	会瀬港	実習開始・乗船出航
	8:00	会瀬港	帰航・水揚げ
	11:00	会瀬港	昼食
	12:00	会瀬港	実習開始
	16:00	会瀬港	実習終了
	18:00	宿舎	夕食・風呂
	21:00	宿舎	就寝
6月6日 6月11日	4:00	宿舎	起床
	4:30	会瀬港	実習開始・乗船出航
	8:00	会瀬港	帰航・水揚げ
	11:00	会瀬港	昼食
	12:00	会瀬港	片付け・整理
	13:30	宿舎	バス出発
	15:00	学校	到着

企業実習事前・事後アンケート 技術科(5/29,6/11) 資料2-1

1 海は好きですか？

	好き	どちらかという好き	普通	どちらかという嫌い	嫌い
事前	58%	18%	21%	3%	0%
事後	64%	24%	9%	3%	0%

2 魚を食べるのは好きですか？

	好き	どちらかという好き	普通	どちらかという嫌い	嫌い
事前	52%	21%	21%	3%	3%
事後	48%	24%	18%	6%	3%

3 あなたは船酔いしますか。

	した	少しした	普通	あまりしない	しない
事前	39%	12%	12%	21%	15%
事後	45%	15%	9%	15%	15%

4 定置網漁業の方法を知っていますか

	知っている	少し知っている	普通	あまり知らない	知らない
事前	15%	24%	21%	27%	12%
事後	39%	24%	18%	9%	6%

5 まき網漁業の方法を知っていますか

	知っている	少し知っている	普通	あまり知らない	知らない
事前	21%	24%	21%	21%	12%
事後	36%	33%	18%	6%	6%

6 港湾作業の仕事を知っていますか。

	知っている	少し知っている	普通	あまり知らない	知らない
事前	18%	27%	24%	24%	6%
事後	52%	21%	18%	3%	6%

7 将来の進路を深く考えたことがありますか

	ある	すこしある	普通	あまりない	ない
事前	33%	24%	33%	9%	0%
事後	45%	33%	12%	6%	3%

8 将来漁業者になりたいですか？

	なりたい	どちらかというなりたい	分らない	どちらかというなりたくない	なりたくない
事前	30%	15%	24%	18%	12%
事後	30%	27%	21%	9%	12%

9 将来港湾作業の仕事に就きたいですか。

	なりたい	どちらかというなりたい	分らない	どちらかというなりたくない	なりたくない
事前	9%	3%	61%	9%	18%
事後	24%	15%	39%	12%	9%

10 将来社会人として働く意欲や情熱はありますか。

	ある	どちらかというある	普通	どちらかというない	ない
事前	36%	27%	36%	0%	0%
事後	58%	30%	12%	0%	0%

11 働くことの目的は何ですか？

	やりがい	分らない	お金	仕方なく
事前	42%	9%	48%	0%
事後	45%	12%	42%	0%

12 企業実習に参加して学習意欲が向上しましたか。？

	向上した	どちらかという向上した	分らない	どちらかという向上しない	向上しない
事前	39%	33%	15%	0%	12%
事後	27%	36%	30%	0%	6%

13 企業実習により将来に役立つ技術・技能は身に付くとおもいますか。(付きましたか)

	ついた	どちらかというついた	普通	どちらかという付かない	身に付かない
事前	42%	24%	18%	12%	3%
事後	30%	30%	33%	0%	6%

14 コミュニケーション能力や協調性は大切だと思いますか。

	思う	どちらかという思う	普通	どちらかという思わない	思わない
事前	79%	12%	9%	0%	0%
事後	76%	6%	18%	0%	0%

15 礼儀・作法(挨拶, 言葉遣い, 感謝, モラル, ルールの遵守等)は大切だと思いますか。

	思う	どちらかという思う	普通	どちらかという思わない	思わない
事前	82%	15%	3%	0%	0%
事後	85%	6%	9%	0%	0%

16 学校の授業や実習は入社後の仕事で役立つと思いますか？

	思う	どちらかという思う	普通	どちらかという思わない	思わない
事前	55%	21%	21%	3%	0%
事後	55%	24%	15%	3%	3%

17 漁業に対するイメージはどうですか？

	良い	どちらかという良い	分らない	どちらかという悪い	悪い
事前	21%	36%	36%	3%	3%
事後	45%	30%	15%	6%	3%

18 港湾作業に対するイメージはどうですか。

	良い	どちらかという良い	分らない	どちらかという悪い	悪い
事前	12%	27%	58%	0%	3%
事後	48%	33%	18%	0%	0%

19 あなたの海洋技術科で学ぶ目的は何ですか

	技術習得	専攻科進学	海技免許	なんとなく	その他
事前	24%	0%	39%	27%	9%
事後	30%	3%	52%	9%	6%

企業実習事前・事後アンケート 食品科(9・10月実施)

資料2-2

1 海は好きですか？

	好き	どちらかというと好き	普通	どちらかというと嫌い	嫌い
事前	43%	24%	30%	0%	3%
事後	54%	11%	30%	0%	5%

2 魚を食べるのは好きですか？

	好き	どちらかというと好き	普通	どちらかというと嫌い	嫌い
事前	38%	24%	32%	3%	3%
事後	43%	16%	27%	5%	8%

3 魚の調理は好きですか？

	好き	どちらかというと好き	普通	どちらかというと嫌い	嫌い
事前	27%	14%	49%	5%	5%
事後	38%	11%	38%	5%	11%

4 将来、水産(食品)関係の仕事につきたいですか。

	つきたい	どちらかというとつきたい	分らない	どちらかというとつきたくない	つきたくない
事前	14%	27%	38%	11%	11%
事後	19%	19%	30%	22%	11%

5 働くことの目的は何ですか？

	やりがい	分らない	お金	仕方なく
事前	30%	3%	68%	0%
事後	22%	5%	73%	0%

6 企業実習は楽しみですか。(楽しかったですか)

	楽しかった	どちらかというと楽しかった	分らない	どちらかというと楽しくない	楽しくなかった
事前	19%	30%	35%	3%	14%
事後	51%	41%	5%	3%	0%

7 職業や仕事内容への理解は深まると思いますか(深まりましたか)。

	十分深まった	深まった	やや深まった	変化なし
事前	8%	46%	46%	0%
事後	27%	43%	30%	0%

8 社会人・職業人として働く意欲や情熱は向上すると思いますか(向上しましたか)。

	著しく向上した	向上した	変化なし	下がった
事前	22%	43%	30%	5%
事後	5%	65%	27%	3%

9 就職して役に立つ技術・技能は身に付くと思いますか(付きましたか)。

	十分身についた	身についた	ある程度身につく	身につかない
事前	19%	43%	38%	0%
事後	19%	38%	41%	3%

10 コミュニケーション能力や協調性は身に付くと思いますか(ついたと思いますか)。

	十分身についた	身についた	ある程度身についた	身につかなかった
事前	14%	54%	30%	3%
事後	30%	38%	30%	3%

11 今後の進路を考える上で参考になるとと思いますか(なりましたか)。

	とても参考になった	参考になった	ある程度参考になった	ならない
事前	11%	54%	30%	5%
事後	27%	38%	32%	3%

12 社会人としての礼儀・作法(挨拶, 言葉遣い, 感謝, モラル, ルールの遵守等)は大切だと思いますか。
社会人としての礼儀・作法(挨拶, 言葉遣い, 感謝, モラル, ルールの遵守等)は大切さを感じましたか。

	大変感じた	感じた	やや感じた	感じなかった
事前	65%	27%	5%	3%
事後	59%	30%	11%	0%

13 実習先の企業に就職したいと思いますか。

	就職したいと思う	興味があるが迷っている	もともと思っている	思わない
事前	14%	46%	0%	41%
事後	27%	35%	5%	32%

14 地域産業への理解は深まると思いますか(深まりましたか)。

	十分深まった	深まった	やや深まった	変化なし
事前	11%	51%	30%	8%
事後	19%	32%	38%	11%

15 地域の企業で働くことに興味・関心を持っていますか。(持ちましたか)

	興味関心を持った	少し興味関心を持った	もともと興味関心を持っている	興味関心はない
事前	24%	51%	0%	24%
事後	22%	49%	11%	19%

16 一企業あたりの実習期間は何日が適当だと思いますか。

	20日程度もしくはそれ以上	15日程度	10日程度	5日程度	3日程度
事前	0%	16%	51%	22%	11%
事後	14%	14%	46%	16%	11%

企業実習事前・事後アンケート 工学科(5/23,6/18)資料4

1 海は好きですか？

	好き	どちらかというと好き	普通	どちらかというと嫌い	嫌い
事前	46%	20%	29%	6%	0%
事後	51%	14%	34%	0%	0%

2 魚を食べるのは好きですか？

	好き	どちらかというと好き	普通	どちらかというと嫌い	嫌い
事前	40%	20%	34%	3%	3%
事後	46%	26%	26%	3%	0%

3 あなたは船酔いしますか。

	した	少しした	普通	あまりしない	しない
事前	40%	23%	9%	9%	20%
事後	40%	37%	0%	11%	11%

4 定置網漁業の方法を知っていますか

	知っている	少し知っている	普通	あまり知らない	知らない
事前	11%	23%	20%	31%	14%
事後	37%	31%	23%	9%	0%

5 まき網漁業の方法を知っていますか

	知っている	少し知っている	普通	あまり知らない	知らない
事前	3%	6%	11%	49%	31%
事後	11%	26%	23%	31%	9%

6 港湾作業の仕事を知っていますか。

	ある	すこしある	普通	あまりない	ない
事前	11%	34%	14%	31%	9%
事後	14%	51%	17%	17%	0%

7 将来の進路を深く考えたことがありますか

	なりた	どちらかというなりた	分からない	どちらかというなりたくない	なりたくない
事前	9%	20%	40%	9%	23%
事後	6%	17%	34%	23%	20%

8 将来漁業者になりたいですか？

	なりた	どちらかというなりた	分からない	どちらかというなりたくない	なりたくない
事前	0%	6%	51%	11%	31%
事後	6%	20%	51%	9%	14%

9 将来港湾作業の仕事に就きたいですか。

	なりた	どちらかというなりた	分からない	どちらかというなりたくない	なりたくない
事前	0%	14%	60%	9%	17%
事後	3%	9%	60%	23%	6%

10 将来社会人として働く意欲や情熱はありますか。

	ある	どちらかというある	普通	どちらかというない	ない
事前	29%	31%	34%	6%	0%
事後	49%	29%	23%	0%	0%

11 働くことの目的は何ですか？

	やりがい	分からない	お金	仕方なく
事前	14%	11%	74%	0%
事後	29%	3%	71%	0%

12 企業実習は楽しみですか。(楽しかったですか)

	楽しかった	どちらかという楽しかった	分からない	どちらかという楽しくない	楽しくない
事前	37%	29%	26%	6%	3%
事後	29%	29%	43%	0%	0%

13 企業実習により将来に役立つ技術・技能は身に付くとおもいますか。(付きましたか)

	ついた	どちらかというついた	普通	どちらかという付かない	身に付かない
事前	40%	29%	26%	0%	6%
事後	26%	34%	37%	3%	0%

14 コミュニケーション能力や協調性は大切だと思いますか。

	思う	どちらかという思う	普通	どちらかという思わない	思わない
事前	63%	34%	3%	0%	0%
事後	77%	20%	3%	0%	0%

15 礼儀・作法(挨拶、言葉遣い、感謝、モラル、ルールの遵守等)は大切だと思いますか。

	思う	どちらかという思う	普通	どちらかという思わない	思わない
事前	91%	9%	0%	0%	0%
事後	86%	14%	0%	0%	0%

16 学校の授業や実習は入社後の仕事で役立つと思いますか？

	思う	どちらかという思う	普通	どちらかという思わない	思わない
事前	40%	34%	17%	9%	0%
事後	37%	34%	29%	0%	0%

17 漁業に対するイメージはどうですか？

	良い	どちらかという良い	分からない	どちらかという悪い	悪い
事前	14%	37%	40%	6%	3%
事後	17%	40%	37%	6%	0%

18 港湾作業に対するイメージはどうですか。

	良い	どちらかという良い	分からない	どちらかという悪い	悪い
事前	3%	14%	77%	3%	3%
事後	11%	34%	51%	0%	3%

19 工場作業に対するイメージはどうですか。

	良い	どちらかという良い	分からない	どちらかという悪い	悪い
事前					
事後	11%	14%	66%	6%	3%

20 あなたの海洋工学科で学ぶ目的は何ですか

	技術習得	専攻科進学	海技免許	なんとなく	その他
事前	49%	0%	26%	23%	3%
事後	43%	3%	40%	29%	0%

生徒の感想 海洋技術科

旋網漁業実習

生徒1	海洋高校の卒業生に旋網船の中を案内してもらい、いろいろと説明してもらいました。先輩の話を知っていると使っても余るくらいの給与をもらっていることを聞いて、うらやましく思いました。次にDVDを見てたくさんのサバやイワシをとる姿を見てカッコいいと思いました。5級海技士と小型船舶免許をとれば大丈夫と言われました。頑張るとして船乗りになりたいと思います。
生徒2	旋網船ではブリッジの機械が多すぎて仕事をするには勉強することが大切だと思った。はさき漁協のイワシの量が5000トンと聞いてすごいと思った。
生徒3	旋網船を見学しました。ブリッジには魚群探知機や潮流計がたくさんあり、漁労長は責任が重いなと思いました。卒業生の話で、1年目の給与が450万円と聞きました。とても驚きました。その他、普段の生活の話も聞けてとてもためになりました。はさき漁協のDVDをみて思っていたよりやりがいがある仕事だと思いました。これからの就職の1つとして考えたいと思います。
生徒4	今日は卒業生に旋網船を案内してもらいました。漁労長は月給100万円で、ボーナスが750万円と聞きました。計算すると1年間で2000万円もらっていることがわかりました。自分も船に乗ってそれくらい稼いでみたいと思いました。
生徒5	旋網船の船内は少し狭かった。ブリッジにはモニターがたくさんあってすごいと思った。卒業生が1年目のボーナスで150万円もらったのを聞いて驚いた。少しだけ、自分もやってみたくと思った。休みがたくさんあることもいいなと思った。自分は料理の道に進もうと思っていたけど、旋網船もいいなと思った。
生徒6	旋網船の船内を見せてもらいました。船員さんの部屋を見せてもらったり、ブリッジや機関室を見学させてもらいました。卒業生の話では最初の1年目も給与は450万円と言っていました。漁労長は月に100万円もらえると話していました。休みも多いし、冬になるとほとんど毎日出られなくて休みばかりと言っていました。自分もこの企業実習で就職したい漁船だと思いました。
生徒7	漁労長のボーナスを聞いてビックリした。自分も旋網船に乗ってみたいと思った。旋網のDVDはとても勉強になった。
生徒8	旋網船を見学して特に印象に残ったのがブリッジでした。特に船長と漁労長の座る椅子はほかの船員さんよりもはるかに大きく、まわりに機械がたくさん置いてありすごい責任がある仕事なんだなと思いました。海洋高校の先輩が1年目なのにたくさんのお金をもらっているのを聞いて驚きました。就職活動の選択肢にしようと思いました。
生徒9	旋網船が大きすぎてすごかった。積んである機械もすごかった。値段もすごかった。旋網船に就職したいと思っていたから、見学できてよかった。先輩の話を知って陸上ではどんなに頑張ってもこんなに給与をもらうことはできないけど、旋網船に乗って頑張ればたくさん給与がもらえると聞いていた。すごい魅力を感じた。
生徒10	旋網船に乗っている人の話を聞いて船で仕事するのも悪くないなと思いました。
生徒11	旋網船でいろいろな話を聞いた。仕事は月に10日位なのに給与が高くていい仕事だと思った。旋網船のDVDはわかりやすくとてもためになった。この企業実習で海の仕事のイメージがかなり変わった。
生徒12	旋網船に行ったとき金髪の先輩が800万円のジャガーの車を買えたり、飲みに行ってくさんお金を使った話を聞いて自分も働きたいと思った。先輩はバカでもいいけど体力は必要だと言っていました。自分もこれから少しずつ体を鍛えていこうと思います。
生徒13	まき網船を見学しました。1隻12億円すると聞いて驚きました。ブリッジでは様々な機械があり、性能がいいので約1億円すると聞いてビックリしました。機関室はエンジンがたくさんあり、とても暑く、音もうるさかったです。まだ将来はわからないけど、できたら、船の仕事に就きたいと思いイワシ漁の仕事に就くと給与がたくさんもらえることに驚いた。網船を見せてもらったけど大きい船だと思った。機関室はとても暑かったけど、船員さんの部屋はとてがかいてきそうでした。また、初任給が30万円と聞き、将来の夢が少し変わりそうな気がした。
生徒14	銚子港に泊っているまき網船を見学した。とても大きいまき網船だった。ブリッジではたくさんの画面があってビックリした。ブリッジにあるものだけで1億円もすると聞いて驚いた。船員の給与が月30万円くらいで年収900万円～1000万円もらえると聞いてうらやましかった。
生徒15	はさき漁協でまき網のDVDを見た。まき網漁業のことが少しわかってためになった。船の見学では乗組員の部屋が個室になっていてすごいと思った。
生徒16	ブリッジにあるソナーやスキャナーが1億円以上すると聞いて驚いた。まき網船は1隻12億円すると聞いてさらに驚いた。船員食堂にあったテレビが最新式であることにも驚いた。

生徒の感想 海洋技術科

タグボート

生徒1	初めてハンドレッド投げをやってみました。見ていると簡単そうでしたが、実際に投げってみるととても難しかったです。
生徒2	タグボートを操縦してみました。以外に簡単だと思いました。しかし、横滑りはタイミングがつかめずに難しかったです。
生徒3	今日は船のことについて船員さんに丁寧に教えてもらった。スプライスの実習では楽しくわかりやすく教えてもらった。
生徒4	スプライスで使ったロープはとても太くてやるのが難しかった。学校でやるスプライスは小さなスパイクでできるけど、タグボートで使うロープは鉄とか木の大きなスパイクを使い、2人がかりでやっていくのでかなり難しい作業だった。
生徒5	ハンドレッド投げをやりましたが、結構難しかったです。タグボートの操縦は思ったより簡単だった。
生徒6	ロープのアイスプライスをやりましたが、学校でやった細いロープと違い、大変に太いロープでやりました。やり方は同じなのに太いだけで、使う道具も、人でも全く違いました。良い経験になりました。
生徒7	ロープが太く固かったのでスプライスをするとき大変だった。学校でやる小さいロープのほうが簡単だった。タグボートを始めて動かすことができ、うれしくてとても興奮した。
生徒8	刺し網漁業を体験した。網を引っ張るのがとても大変だった。船が揺れて大変だったが、魚がたくさんとれてビックリした。
生徒9	タグボートの初めて乗った。船の部分の名前や役割や用具について学んだ。授業で学習したことだったので、すぐに理解することができた。タグボートの操船では様々な動きができるのすごいと思った。自分としては将来は漁船に乗ってみたいと思った。
生徒10	タグボートのエンジンを見学してとても関心を持った。操船もやってみてとても楽しかった。また、食等選ばれ、あら汁とかつおの刺身を作った。美味しくできて良かった。

生徒の感想 海洋技術科

定置網, 刺し網

生徒1	刺し網をあげるのがとても大変でした。バランスをとるのもやっとでした。また、魚を網から外すのも大変で、なかなか魚をはずせませんでした。
生徒2	市場では氷を運んだり、桶を洗ったりして大変でしたが、市場の人が優しくて結構楽しくやれました。たくさんの経験ができて良かったです。
生徒3	乗組員の人は船に乗る前に雑談していたけど、いざ仕事が始まったら余計なことは一切話をしていなかった。そして、誰に指示されるわけでもなく自分の仕事をテキパキこなしていた。先生が言っていた「やることはやって話をしているときに話す」の意味が良くわかった。
生徒4	出港して5分くらいで船酔いしてしまい、何もできなかった。市場では魚を種類別に並べました。
生徒5	定置網で網を引っ張る作業と水揚げをやりました。網を引っ張るのは結構楽でしたが、水揚げは魚が重たくて大変でした。
生徒6	朝4時に起きるのが辛かったけど、もしここに就職したら毎日こうなんだなと思いながら漁をしました。船酔いするか心配でしたが、波も穏やかで大丈夫でした。
生徒7	漁師さんたちは港にいる時と比べ、網をあげているときは真剣な表情であった。とてもカッコよく思えた。
生徒8	出港すると皆船酔いで寝てしまいました。自分は我慢して仕事をやりました。朝3時と早い時間からの実習でしたが。
生徒9	定置網の水揚げは、いろいろな魚がとれて楽しかった。
生徒10	昨日仕掛けた刺し網をあげるとイセエビやナメタガレイがとれて興奮した。網から魚をはずした後、再び使用できるように整理して、結構疲れた。定置網の水揚げでは色々な魚がとれていてす

生徒の感想 海洋食品科

水産加工実習

生徒1	約10日間という長いようで短い期間で、みなさんから魚をさばく技術などたくさんのことを教えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんに教えてもらったことは、きっと今後の生活で役立つことだと思います。本当にありがとうございました。
生徒2	8日間をとおして、お客様への対応、態度や、品物の先入れ先出しなどスーパーで重要なことがいろいろ学べて良かった。これからの進学や就職に生かしていきたいと思った。従業員さんとのコミュニケーションもたくさんとれたし、従業員さんが「ありがとう」と言ってくれるのが一番うれしかった。私が就職したらこのことを忘れず、まわりの人に感謝の言葉を言いたいと思った。店長さん、次長さん、従業員さんに言われたことを忘れないようにしたい。
生徒3	今日は、シール張りが多かったです。地味な作業だけど間違えると大変なことになってしまうのではないかと、まじめに取り組みました。最終日なのもあり、気をつけて頑張りました。ブラウンというエビがものすごくおいしくてびっくりしました。やはり仕事はとても辛いものだと、つくづく感じました。この2週間の企業実習で仕事の大変さやつらさが分かりました。就職したら頑張りたいと思います。
生徒4	シシャモの袋詰めはもう完璧にできるようになりました。午後は工場とスーパーの見学でした。工場では流通のことや、巨大冷蔵庫の中の見学もできました。冷蔵庫の中は-18~-25℃でとても寒かったです。スーパーでは工場からの製品が並べられていて感動しました。僕が行った会社では見たことのない機械を使うことが出来て感動しました。自分は来年、この会社で働きたいです。2週間の実習本当にありがとうございました。
生徒5	今日は最後の企業実習でした。これからの社会にすごく参考になりました。これから僕が食品会社にはいるとして、この会社でいろいろ学びました。将来に向けて良い勉強になりました。この2週間色々な人にお世話になりました。ときには少し迷惑ななってしまった部分もありますが、今まで親切に教えていただきありがとうございました。
生徒6	アルバイトでは経験できなかったことがたくさん経験できました。品出しでは、古いやつかは前で、新しいのは後ろということを教えてもらえました。パートの方もとても優しく明るく仕事が出来ました。青果にも行かせてもらえて本当に貴重な体験でした。ここで仕事をさせてもらってつらかった時もあったけど、それよりも楽しいことのほうが多かったです。今後、就職するときにぜひとも生かしたいと思いました。
生徒7	今日は会社に着いてから箱詰室に行き長時間箱詰室にいました。シラスの選別作業は結構シラスの数が多かったので疲れましたがあきらめずに頑張りました。今日が最後の企業実習だったけれど、自分的には最後まであきらめずに頑張れたので良かったです。この2週間色々なことが学べました。僕が頑張れたのは皆さんが僕に優しく丁寧に教えてくれたからだと思います。本当にありがとうございました。初めて僕は食品加工会社で働きましたが、最初は緊張しましたがだんだん慣れてきて仕事が楽しくなりました。今まで本当にありがとうございました。
生徒8	三日体がもったなと思う。とにかく疲れた。肩や腰が痛い。まあ疲れはしたけど楽しかった。
生徒9	今日は最後の企業実習でした。今までいろいろ勉強になりました。ありがとうございました。僕が頑張れたのは細かくていねいに教えてもらったからです。とても勉強になりました。僕は食品科ですがまだ知らないことがいろいろあったのですごくためになりました。仕事にだんだん慣れてきました。今までお世話になりました。ありがとうございました。

生徒の感想 海洋工学科

旋網漁業実習

生徒1	船室は、船員一人一人の個室があってもものすごくいい部屋だった。初任給が30万ということにも驚いた。将来の夢が少し変わりそうな気がした。
生徒2	旋網船の外部には網を巻くためのローラーがあり、DVDで見たものよりも実物は迫力があり、かなり大きいという印象を受けました。また、内部の操舵室には、多くのソナーや航海機器など高性能のものがあり、船や海が好きな私には大変興味深く、貴重な体験でした。
生徒3	水産業についての動画を見て、どのように魚を取るのか、どのような魚が取れるのか等が分かりやすく勉強になった。本来であれば女性は乗船できないはずでしたが、特別に乗船することができ、すごく嬉しかった。船内では様々な機械や漁具が沢山あってすごかったです。一番の思い出になりました。

生徒の感想 海洋工学科

定置網、刺し網

生徒1	定置網実習は、今までやったことがない作業をしてとても疲れた。でも魚がいっぱい取れて良かった。5時間位船で作業するのは初めてだったけど、面白かった。
生徒2	定置網実習をやってみて、朝がとても早かったのもとても大変でした。アジ、タイ、ヒラメなどが大量に揚がっていたのですごいいいと思いました。また、サメもいて驚きました。
生徒3	定置網の中には、とても多様な種類の魚と、経験したことのない数にとっても驚きました。引き揚げ作業は力のいる仕事でしたが積極的に取り組むことができました。クラゲが大量に網に入っていたときは、漁業者の皆さんもとても苦労している様子でした。

生徒の感想 海洋工学科

タグボート

生徒1	タグボートの特徴等の説明を受けた後、実際に操縦を体験しました。船を操ることの難しさや大変さを実感しました。また、300mもの船を岸に着ける作業を見学し、高度な操船技術と安全管理が必要であることを強く感じることができました。
生徒2	タグボートの実習ではウインドラスなどについて説明を受けました。また、大きな貨物船を4隻のタグボートで運ぶ作業を見て、とても驚きました。

生徒の感想 3年生旋網漁業実習

生徒1	私は2年生の企業実習の時旋網船が水揚げをしているのを見てあんなに多くの魚がどうやったらとれるのかと思っていました。旋網船に到着するとコック長がご飯を出してくれました。取れたてのイワシの刺身と焼いたイワシを食べてとてもおいしいと思いました。船は11時位に出港しました。ブリッジにはたくさんの機械があって始めて見るものばかりでした。操業では網船とレッコボートで網をまき、徐々に網を小さくしていきます。最後にクレーンで魚をすくいあげます。イワシやアジがビックリするほどたくさんあがってきました。操業は2回やりました。船員さんたちは毎日やっていてすごいなと思いました。私も、旋網船で働くようになったら早く仕事を覚えてあんな風に魚をとってみたいと思いました。
生徒2	1泊2日で旋網船の運搬船に乗船し体験をしました。最初はどのようにしてイワシを漁獲するのはよくわかりませんでした。実際に経験し、旋網漁業は4隻の船で漁業をやることがよくわかりました。それぞれの船は網船、探索船、運搬船、レッコボートです。それぞれが、役割分担をして協力しながら魚をとります。すごい連携でたくさんの魚をとるのだと知りました。自分もその一員になってみたいと思いました。
生徒3	私は旋網漁船の中の運搬船に乗船し実習をしました。運搬船は220トンでした。鹿島丸と違って機関室はとても広くヤンマー製の8気筒エンジンがついていました。カッコいいと思いました。出港は23時と聞いていました。22時50分に鐘がなり出港しました。漁場では網船とレッコボートが網をまいていました。その後網船の反対側に運搬船をつけました。網を小さくして最後に三角網で魚をすくいあげました。すごい量の魚が船に中に入ってきました。水揚げではトラックが何台も来て魚を積んでいきました。初めて旋網漁業を体験して、スケールの大きさに驚きました。

1 礼儀・作法(あいさつ・言葉遣いなど)

	できる	ややできる	普通	ややできない	できない
受入前	4	4	6		
受入後	6	8			

2 容姿(服装・頭髪など)

	よい	やや良い	普通	やや悪い	悪い
受入前	4	3	6	1	
受入後	7	5	2		

3 学習能力

	よい	やや良い	普通	やや悪い	悪い
受入前	4	3	4	3	
受入後	6	6	2		

4 作業実践

	できる	ややできる	普通	ややできない	できない
受入前	1	1	11	1	
受入後	5	4	5		

5 努力する力

	ある	ややある	普通	ややない	ない
受入前	2	3	7	2	
受入後	6	3	5		

6 将来の雇用としての期待

	ある	ややある	普通	ややない	ない
受入前	3	1	10		
受入後	7	3	3	1	

7 海洋高校生に望もの(複数回答可能)

	基礎学力	礼儀作法	実践技術	努力する力	
受入前	6	1	5	5	
受入後	6	3	3	7	

その他

積極性

今年の生徒はまじめで明るい生徒でした

フォークリフトの免許があれば即戦力になれる

今回の実習が進路選択に役立てば会社にとっても幸いです

生徒たちが今回の実習で得たことを将来に活用してほしい

進路状況

資料5

	技術科	食品科	工学科	合計
本科卒業生数	26	23	39	88
就職内定者	21	23	26	70
一般企業等	8	17	15	40
漁業・水産業・海洋・港湾関連企業内定	13	6	11	30
漁業内定	4	0	3	7
水産加工業等内定	3	6	1	10
海洋関連企業内定	4	0	5	9
港湾関係企業内定	2	0	2	4
就職未定者	0	0	0	0
進学者(一般大学・専門学校等)	2	0	9	11
進学予定(未定者)	0	0	0	0
進学者(海洋系学校)	3	0	3	6
その他(バイト等)	0	0	1	1

		求人社数		求人数		就職・内定	
		県内	県外	県内	県外	県内	県外
漁業	22年度	3		7		7	
	23年度	3	8	10	36	4	2
	24年度	5	21	10	—	7	0
	25年度	8	—	20	—	9	0
	26年度	8	1	21	1	6	1

		求人社数		求人数		就職・内定	
		県内	県外	県内	県外	県内	県外
水産加工業	22年度	4		7		6	
	23年度	7	0	15	0	7	0
	24年度	9	0	13	0	9	0
	25年度	8	1	12	0	7	0
	26年度	5	1	15	2	10	0

		求人社数		求人数		就職・内定	
		県内	県外	県内	県外	県内	県外
海洋関連企業 タグボート等	22年度						
	23年度	3	5	10	17	0	1
	24年度	2	2	4	2	4	2
	25年度	1	0	8	0	2	0
	26年度	3	4	7	4	3	3

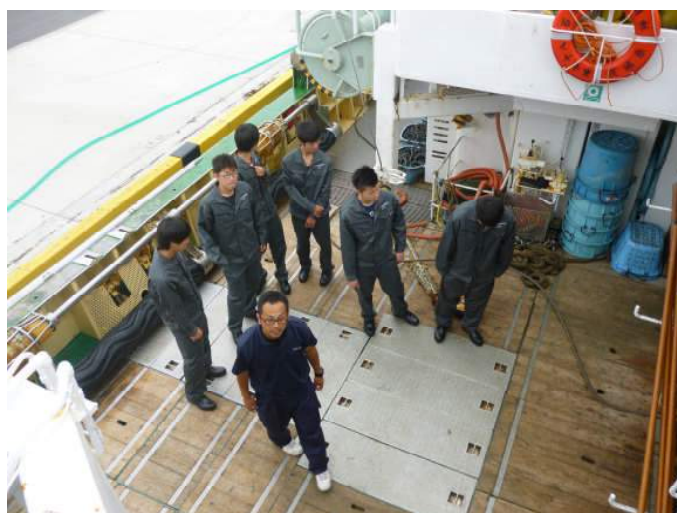
		求人社数		求人数		就職・内定	
		県内	県外	県内	県外	県内	県外
海洋関連企業 船舶以外	22年度						
	23年度						
	24年度	1	2	1	2	1	2
	25年度	4	4	11	38	2	2
	26年度	4	5	12	50	4	3



旋網漁業実習



旋網漁業実習



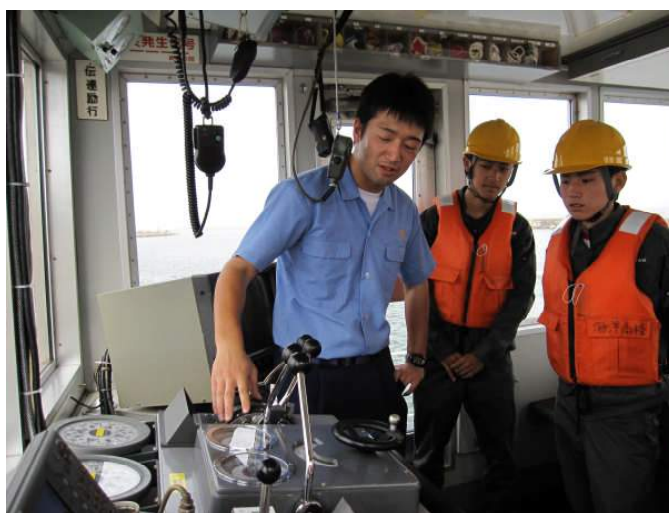
旋網漁業実習



旋網漁業実習 3 年生



定置網漁業実習



タグボート実習



水産加工企業実習



技術者による実践的指導（漁具作成）



水産加工企業実習



水産物販売実習



先端技術習得実習（HACCP 認定工場）



技術者による実践的指導（本県ヒラメ調理）